

橋梁点検ロボットカメラは、点検員が目視で確認するには困難な場所を、伸長可能なポールに取り付けたカメラで安全かつ効率的に点検が行えるシステムです。

NETIS登録商品KT-160016-A

本製品は、近接目視点検の支援技術として評価されました。

国土交通省は道路橋定期点検要領の中で、以下のように取り決めています。

- 1、定期点検の頻度：5年に1回の頻度で実施
- 2、定期点検の方法：定期点検は、近接目視により行うことを基本とする。また、必要に応じて触診や打音等の非破壊検査などを併用して行う。



● 特徴

- 1 カメラ移動（パン・チルト）と光学倍率30倍ズームにより、誰でも簡単に離れた場所から小さな損傷を確認できます。
- 2 クラックスケール機能を使い、タブレットPCの画面上でひび割れ幅の測定が可能です。

仕様

項目	架台ユニット	ポールユニット
外形寸法(mm)	W1350×H280×D210	W1730×H200×D160
収納時寸法(mm)	W1350×H280×D210	W1830×H210×D200
最大伸長	高欄の笠木から4.5m	地上から10.5m
質量	約12.5kg(バッテリー含まず)	約10.5kg